

「日本語 × インターンシップ」 プログラム

Japanese Language & IT **I**nternship **P**rogram

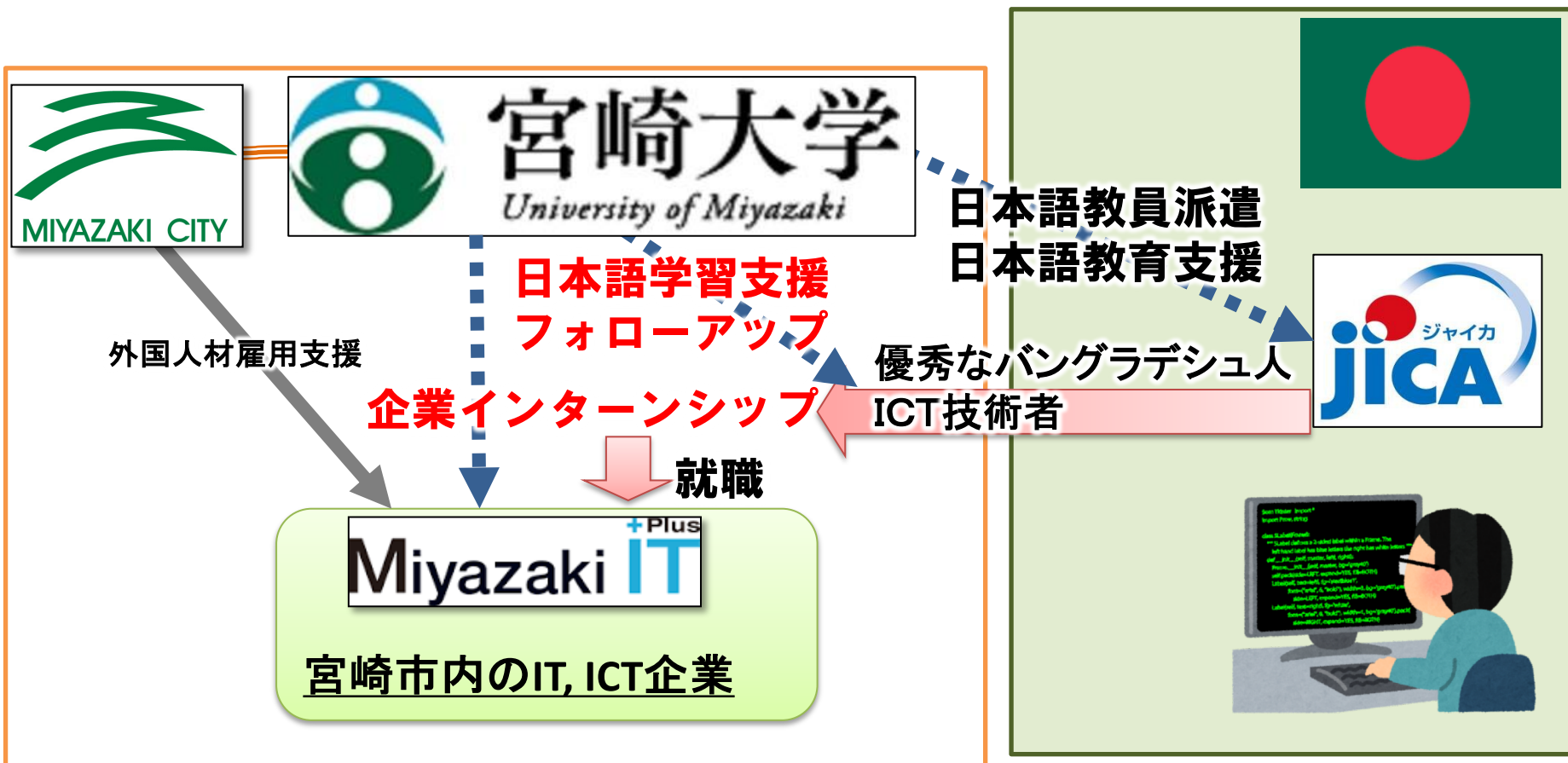
宮崎大学 国際連携センター



宮崎-バンングラデシュモデル

高度外国人材の国内就業支援のパイロットモデル

バンングラデシュICT技術者への「日本語×インターンシップ」支援



1. 日本語習得の課題

日本語教育の課題

日本語学習継続率が低い

バングラデシュの日本語教育の例

(他でも基本的には同様、典型的な教育内容)

初歩: ひらがな、カタカナ、文法

漢字: 読み、意味、書き方練習

文法: 講義、短文作り

読解: 音読、語彙・文法理解、訳

漢字・作文: 作文練習

日本語学習の動機

ダッカ大学日本語学習者の例

- ① 日本留学
- ② 日本、あるいはバングラデシュ国内の日系企業への就職
- ③ 日本文化、日本社会、日本人の生活習慣などに対する興味関心

在日バングラデシュ人が日常生活で直面する問題

- 時間: 時間の観念の差異(正確性など)に驚く。自らの遅れと焦燥感。
- マナー: バングラデシュと日本における行動規範の差異。
- 交流: 日本人コミュニティ、地域・社会への参加の希望。
- 食・生活: 宗教上の禁じられた食品の区別、祈り、断食などへの周囲の説明。

学習者の動機・モチベーション・必要性

教える側の教育目標

1. 日本語習得の課題

「生活の場を広げるための社会的関係の構築」に必要な日本語

- コミュニケーション：発話能力。
- 情報収集：漢字の知識の修得。
⇒ 周囲の人や地域コミュニティとの関わり、すなわち **社会参加できる能力**

日本語だけではない総合的な日本語学習支援

生活上の行為：高い使用可能性

- 健康・安全に暮らす
- 消費活動を行う
- 社会の一員となる

必要に基づく5つの因子：要望に基づく内容：

- 求職活動
- 医療関連の行動
- 交通情報の確認
- 地域コミュニティとの関わり合い
- メディアからの情報収集

生活上の行為の事例に対応する学習項目の要素

状況・行為

「場面（場所，相手，状況・動機）」
「やり取りの例（コミュニケーション）」

習得内容

「機能（発話）」
「文法」「語彙」

「4技能」の上達
(話す，聞く，読む，書く)

(アラム モハメッド アンサル(2015)在日バングラデシュ人の日本語使用実態と社会的関係の構築)

(国立国語研究所(2010)「生活のための日本語」に関する基礎的研究—段階的発達の支援をめざして—<中間報告書>)

(文化庁HP(2010)「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について)

2. 「日本語 × インターンシップ」

平成29年度宮崎市地域貢献学術研究助成

「高度外国人材就業のための日本語・キャリア教育と地域産業人材の国際化に関する研究」

プログラムの概要

- | | | |
|--------------------------|---|---------------------------|
| ① 日本語(ビジネス・コミュニケーション日本語) | } | バンングラデシュICT技術者
日本企業受入側 |
| ② インターンシップ(キャリア教育) | | |
| ③ 地域産業人材の国際化 | | |

上達を目指す項目

バンングラデシュICT技術者

日本語能力:	日本語能力検定5-4級(N5-4)相当(読み、書き)
コミュニケーション力:	日本語能力検定4級(N4)相当(会話)
語彙数・漢字:	約1,500語以上・約300個(N4程度)
社会性:	日本企業、社会への参加(マナー、文化理解、etc)

日本企業受入側

異文化理解:	相手国文化の理解醸成、日本文化の適切な伝達
インタープリター:	相互理解支援、生活支援(指導、育成)
客観的経験:	日本社会を外国人目線で知る経験



2. 「日本語 × インターンシップ」

1. 日本語

B-JETで先に学んだ「日常会話」「ビジネスマナー」「社内会話」をインターンシップの中で使えるよう、基本的な文字と文法を復習、学習。

N4取得を目指すことで、日本語、日本での生活への自信定着を図る。

科目	内容	回数	時間数
BJC5	N5基礎日本語 Basic Japanese Class for N5	30	45
BJC4	N4基礎日本語 Basic Japanese Class for N4	30	45
PJC	実践日本語演習 Practical Japanese Class	30	45

「できるようになること」の目標

期間： 約3ヵ月(12週間)

- ✓ 自分の意思を相手に伝えることができる。
- ✓ 日常生活の範疇でトピックについて理解できる
- ✓ 日常生活の範疇で情報提供などもできる
- ✓ わからないことなどについても自ら尋ねたり、質問したりすることも可能になる
- ✓ 日本語能力検定4級(N4)合格(読み・書き)



2. 「日本語 × インターンシップ」

2. インターンシップ(キャリア教育)

実践的体感的な活動を通じて、日本の社会生活、日本文化への理解を深める。また、実践の中で、会社業務に必要な敬語、用語、基本的なビジネス日本語を向上する。

科目	内容	回数	時間数
INT	宮崎市内IT企業におけるITインターンシップ IT Internship	67	268

時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:40-10:10	INT	BJC4	BJC4	BJC4	PJC
10:30-12:00		BJC5	BJC5	BJC5	PJC
13:00-14:30		Transfer	Transfer	Transfer	Islamic Center
14:00-18:00		INT	INT	INT	INT

「できるようになること」の目標

- ✓ 基礎： 報連相など、日本での社会人としての習慣を身に付ける。
- ✓ 発展： 自分の専門スキルを発揮できるような、積極的なビジネスコミュニケーション。
- ✓ 生活： 日本人社会、地域社会への参加。



2. 「日本語 × インターンシップ」

3. 地域産業人材の国際化

受け入れに向けた連携協力により、インターンシップ(就職)受け入れ企業側が外国人社員の文化・背景の理解を進める機会を設けるとともに、日本人国際人材の育成、共に働く場の形成、受け入れ態勢の構築を支援する。

企業チューター

社内インタープリター： 外国人社員の生活支援。

- 受け入れ： 手続き(行政、銀行、生活準備)、買い物支援、交通指導、など。
- 日常支援： 交流(同僚とのフレンドシップの構築)、日本語会話、相談など。
- 業務(インターンシップ)： 企業業務の説明、指導、従事への支援など。
- メンター： インターンシップ中から育む留学生の会社への帰属意識。
- 自立準備(就職準備)： 住居、通勤確保(免許)、雇用説明など。
- ビザ変更支援： 入国管理局で行う際の会社書類等の準備、同行。

目標： 社内の「国際人材」

会社に欠かせない国際人材

- 社内国際化： バングラデシュ人および文化への理解増進。
- 外国人受入に関する経験と知識： 地域～国内外に視野の広い人材



3.外国人材支援による地域活性化へ

